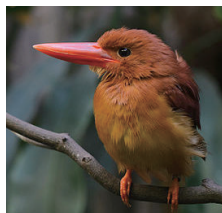




百人一步通信

～「一人の百歩より百人の一步」の社会を作ろう～

【発行】 今井和夫とともに歩む「百人一步の会」
【代表】 今井和夫 (宍粟市市議会議員)
〒 671-3211 兵庫県宍粟市千種町岩野辺 1065
☎ 090-9610-2511
✉ tamago@imaifarm.jp



「ヒュルルル…」窓を開けると山の中からアカシヨウビンという名の渡り鳥の鳴き声が時々聞こえて来ます。別名火の鳥と呼ばれる赤い鳥らしいのですが、一度お目にかかりたいものです。

ホントに大変な時代になってきましたね。コロナに豪雨…。どちらも人間が引き起こしたものだと言われています。コロナは、一説には、熱帯雨林などの原生林の乱開発により、ウイルスが居場所がなくなり出てきたという。豪雨は温暖化で海水温が高くなり蒸発する水蒸気量がとんでもなく増えて雨となって降ってくるという。

人間の欲望と、暮らしの快適さ・便利さの結果なのでしょうか。以前から言われています。世界中の人が先進国並みの暮らしをすれば地球はもたないと。でも、蛇口をひねればいつでもお湯の出る暮らしは捨てがたいし～。

それくらいの便利さは許されるのではないかと思うのですが、できる限り、自給していく、そして、使い捨てでなく循環させるということが大切なのだと思います。

田舎暮らしこそ SDGs

その意味で、もともと田舎の暮らし方というのは、地球にやさしい暮らし方です。



今、[SDGs] とか、やたら横文字で「持続可能な開発目標」とかいられてます。公害まき散らしているような企業でも、何か一ついいことをしていれば「うちは SDGs に貢献してます」ってバッジをつけられてます。国連が言い出した趣旨はいいのですが、使われ方がどうも、うさんくさい～。

そんな中で、SDGs に一番に貢献されているのは、一生懸命田んぼを作られている皆さんではないですか。田んぼが荒れたら何より持続可能な社会は維持できません。

田舎の人々は、何もそんな横文字をつけなくても、バッジをつけなくても、もともと地道に持続可能な暮らし方をされて来たのです。

〈6月一般質問から〉

発酵食品を地産地消して健康になろう

6月議会、コロナ禍で一般質問の議員制限がされる中、上記の件につき質問させていただきました。

宍粟市は「発酵のふるさと」をテーマに町おこしに取り組んでいます。25 団体が参加した「発酵のまちづくり推進協議会」でもいろいろと研究されてきました。でも、それを本当に定着させるためには、何よりも市民に発酵食品が広がることです。

折から、新型コロナウイルスへの免疫力をつけるのに発酵食品が有効とされています。

「なぜ、アジア人の致死率が欧米人に比べて低いのか？」

ファクター X とされるヤツですが、先日、オランダの医師たちが『日本では納豆だ!!』と言われたそうです。「納豆には血液凝固を調節するビタミン K2 が多量に含まれている」と。それで、納豆を紹介するサイトがヨーロッパで増えているとか。

もちろん、納豆以外の発酵食品も有効!!

だから、とりあえず、味噌・漬物・納豆・甘酒～。

「発酵食品を材料から地元でつくり、加工し、市民が食べて健康になる。雇用と健康づくり!! 医療費削減!!。」



収穫の始まった小麦の圃場 6月2日 山崎町 河東地区

豊かな河東地区の小麦

少し日がたちましたが、山崎町河東での小麦の収穫です。毎年、この時期になると黄金色に染まった『麦秋』を見せてくれます。麦畑を知らなかった私は、初めて見たときホントに感動しました。『これが麦か～!!』生産者の皆様、毎年とてもうまくつくられていて感嘆します。ここの小麦は種子用小麦で、特に品質管理が難しいとのこと。

「誰かさんと誰かさんがむぎばたけ～

逢い引きしていた いいじゃないか～・・・」

こんな歌、もう古典ですね。「麦踏み、はったい粉、麦わら帽子、フスマ、・・・」死語になりつつあります。

今、日本の小麦の自給率は 13% です。

パン、パスタ、うどん、お好み焼き、ピザ、お菓子、ケーキ、天ぷら、醤油、餃子・シュウマイの皮、カレーやシチューのルウ、…。

すでに、日本人の主食の 4 割は小麦製品だそうです。その 9 割は輸入です。主に、アメリカ・カナダから。

1960 年 (昭和 35 年) の日米安保条約締結の時に、その裏で、日本の麦と大豆の関税引き下げも決められていきました。その数年後に日本から一気に麦と大豆が消えていったそうです。ホントは、冬 (ウラハ)

そういうことをいよいよ、実際に始めようではないですか。具体的にいつからどのように始めるのか、予算をしっかりと投入する思いはあるのか、を質問いたしました。

市長からは、

コロナ対策として、さらには産業化をめざして、発酵は新たな地域作り、新たな地域経済への起爆剤になる可能性は大きい。

食を通して地域内で経済を循環させ、健康になっていくという理念は非常に崇高であるが、至極当然でもある。

しっかり目標を定めて、庁内の推進体制をきっちり整える。司令塔の役割は誰が担う、実行部隊はどこがする、それを明確化し、次年度からより強固な推進につながるようにしなくてはならないと考えている。

事業内容、事業規模含めてそれにとりあう予算措置が必要と考えたときに思い切った予算措置が必要であると考えている。12 月議会までには一定の方針を出さなくてはならないと考えている。

との回答でした。財政のきびしい中ですが、市民一体となって、なんとか具体的に一歩でも進めたいものです。

『宍粟市に住めば、安全で美味しいものが食べられて健康になる!!』こんな市をめざしたいものです。

→ の田んぼには麦が植わっていたのです。

「コメを食べるとバカになる」そんなことを言って回る日本の学者もいたらしいのですが、とにかく、当時、「パンを食べよう、洋風の食事がいい」と、アメリカの予算で日本中に食事改善運動がされました。その象徴が学校給食のパン。それから 60 年。すっかり日本人はパンや洋食好きに。

しかし、今、その小麦や大豆の安全性が疑問視されています。

食パンから除草剤が !!

市販の食パンに含まれる残留グリホサート検査結果

商品名	製造者	残留濃度 (ppm)
食パン (麦のめぐみ全粒粉入り)	敷島製パン (Pasco)	0.15
食パン (ダブルソフト全粒粉)	山崎製パン	0.18
食パン (全粒粉ドーム食パン)	山崎製パン系列店	0.17
健康志向全粒粉食パン	マルジュ	0.23
ヤマザキダブルソフト	山崎製パン	0.10
ヤマザキ超芳醇	山崎製パン	0.07
Pasco 超熟	敷島製パン (Pasco)	0.07
Pasco 超熟 国産小麦	敷島製パン (Pasco)	—
本仕込み	フジパン	0.07
朝からさっくり食パン	神戸屋	0.08
パン国産小麦	まるまぱん	—
有機食パン	ザクセン W	—
十勝小麦の食パン	ザクセン W	—

農民連食品分析センター調査 (2019 年)

『グリホサート』よく市販されている除草剤「ラウンドアップ」に含まれているものです。日本では安全と売られていますが、欧米では「発がん性あり」とされ、多くの国ですでに禁止、あるいは禁止されようとしています。(このあたりはまた詳しく書きます)

この食パンの検査結果、日本の基準はクリアしています。しかし、EU やその他の多くの国の基準ではアウトです。でも、国産小麦使用のパンからは検出されていません。

なぜ、輸入小麦使用のものから出てくる？ 向こうでは、収穫の直前にこの除草剤をまき、立ったまま乾燥させ、収穫の手間を少しでも短くするそうです。だから、収穫した小麦にそのまま残ります。

これ、もちろん、パンだけでなく、普通に売られている小麦粉 (「国産小麦」と書かれているもの以外) からすべて検出されています。

輸入の小麦、大豆、トウモロコシには、それ以外にも、船で長時間運ぶときに虫が湧かないよう殺虫剤も直接使われていたり、遺伝子組み換えだったり～。

このように食を外国に依存するということは、実は様々なことを伴うこととなります。「安い」というだけではすみません。

パン用の小麦は北海道ではいいのができますが、こちらではなかなか難しいようです。大いに研究すべきだと思います。

この河東地区の豊かな小麦を見るたびに、何とか粟粟で市民が食べる安全でおいしい小麦が作れないものかといつも思います。

私たちの主食の 4 割を占めるようになった小麦。もう元に戻れそうにありません。ならば、国産・地元産を追求すべきだと思います。

また、株主への配当金に至っては 5.5 倍に。最近では、毎年約 20 兆円が株主に配当金として支払われています。

単純に計算して、合計、毎年約 40 兆円が企業と株主に貯まっているわけです。仮にこのうち 30 兆円が労働者の賃金として支払われていたり、税金できちんと集められ国民に回ってれば、国民一人当たり 24 万円、2.5 人世帯で毎年 60 万円、所得が増えていたこととなります。それだと、左のグラフ、せめてプラスにはなっていたのではと思います。

その結果、大金持ちの資産は下表のように一気に増えています。

超富裕層・富裕層の資産総額、世帯数、平均資産 (2000 年・2017 年)

	超富裕層 (金融資産 5 億円以上)			富裕層 (金融資産 1 ～ 5 億円)		
	資産総額	世帯数	1 世帯当り平均資産	資産総額	世帯数	1 世帯当り平均資産
2000 年	43 兆円	6.6 万	6.5 億円	128 兆円	76.9 万	1.7 億円
2017 年	84 兆円	8.4 万	10 億円	215 兆円	118.3 万	1.8 億円

(野村総合研究所 HP より)

2017 年において、金融資産 1 億円以上の人は、合計 127 万世帯。総資産は約 300 兆円に膨らんでいます。

我々庶民は、はかない夢を託して宝くじを買ったりしますが、現実には一億円が 5 回以上当たってる人が 8 万 4 千人。1 ～ 4 回当たった人は 118 万人いる、みたいなものでしょうか。もちろん、くじではないですが。

片や、貧困層もどんどん増え、今、子どもの 7 人に一人は貧困家庭。2000 万人が貧困層と言われています。

昭和の時代は「一億総中流」と言われ、そんなに大金持ちもいなかったけど、貧困層も少なく、みんなそこそこに余裕があった。田舎も元気だった。しかし、今の日本は、世界でも有数の格差社会。

どうしてそうってしまったのでしょうか。

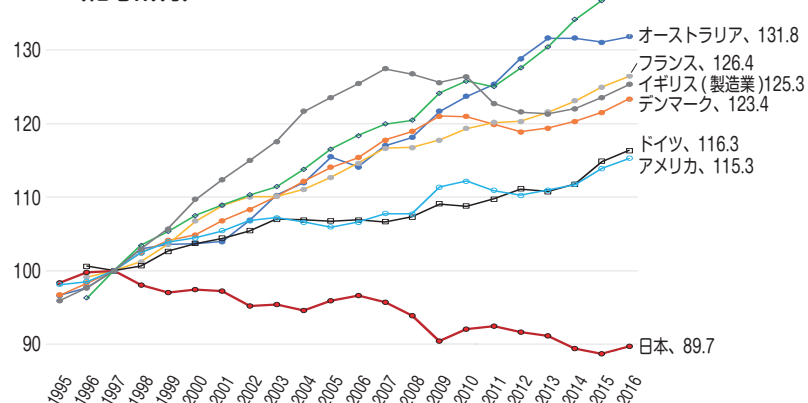
その最大の原因が『税制改革』。消費税の始まりだと思います。

今回は、日本の所得が増えない他の理由、とか、消費税などについてもう少し詳しく書ければと思います。

私も分からないことだらけなのですが、少しでも皆さんとともに知っていければと思います。

日本だけが賃金が伸びてない!

実質賃金指数の推移の国際比較 (1997 年を基準) (給与所得)



出典: OECD.stat より全労連が作成 (日本のデータは毎月勤労統計調査によるもの)
注: 民間産業の時間当たり賃金 (一時金・時間外手当含む) を消費者物価指数でデフレートした。
(全労連 HP 資料 より)

また、暗い話で恐縮ですが、私たちがほとんど知らされてないこと～。上のグラフ、少し見にくいですが、わかりますか？

1997 年からの約 20 年間で賃金がどれだけ増えたかを表したものです。なんと、日本だけが減っています。(絶対値ではありません) (さらに、ここからまだ健康保険料や年金積立等が引かれます)

この 20 年、なんとなく暮らしがしんどくなったと感じている方は多いと思います。それって、日本だけのことなのかもですね。

では、**私たちはこんなに一生懸命働いているのに、そのおカネはどこに行ったのでしょうか。** その大きな部分が企業 (特に大企業) の内部留保と株主への配当金です。

企業の内部留保金の合計と配当金 (2000 年・2017 年)

	企業内部留保金合計	年ごとの配当金合計
2000 年	142.6 兆円	4.2 兆円
2017 年	446.5 兆円	23.3 兆円

企業の「内部留保金」というのは、企業の売上からすべての経費を引いて、役員報酬や配当金も払ったあとに残ったものです。それが、この 17 年間で 3.1 倍、約 300 兆円増えました。最近では毎年、約 20 兆円ずつ増えています。